

洗浄サイクルの流れ: 水洗いブラシ洗いの必要な器具類につきましては(インスルメント、器材洗浄&殺菌工程サイクル)をご覧ください。

① 予備洗浄タンク(30倍希釈)

洗浄ソニック酵素 : 水
(200cc) : 6(リットル)



予備洗浄希釈液を作り準備をする



バスケット大

バスケットを洗浄タンクに入れて患者様に使用した器具類を浸漬する。

患者様に使用した器具類を15分間浸漬



バスケットを取り出す



②の超音波洗浄機で本洗浄を行います。

② 超音波洗浄(50倍希釈)

洗浄ソニック酵素 : 水
(160cc) : 8(リットル)



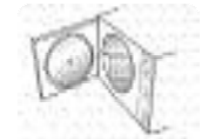
15分間超音波洗浄

バスケットを取り出す

バスケットを持ちながらオゾン流水下などで容器に溜めた水の中でバスケットを上下に左右に揺らして良くすすぎ洗いをする。



本洗浄が完了して通方に従ってオートクレーブへ入れる状態にする。



オートクレーブ等で滅菌・保管

推奨いたします洗浄サイクルにつきまして (効率の良いサイクルとスタッフの危険回避)

予備洗浄タンクとバスケットを各2つ準備を推奨しております。

1: Aの予備洗浄タンクで血液、たん白、HBS不活化、再付着防止洗浄などを行う。

最後に入れたAの器具類を15分間浸漬のためAの予備洗浄タンクに蓋をして新たな器具類を入れない様にする。

★Aのタンクの予備洗浄サイクルスタート

2: 次にAに変わって新たな使用器具類はBの予備洗浄タンクに同様に浸漬していく。

15分間経過したらAからバスケットを取り出して超音波洗浄機に入れて本洗浄開始15分間行う。

同時に続いてAの蓋をBに移して1と同じように新たな器具はBに入れない様にする

★Bのタンクの予備洗浄サイクルスタート及★Aの器具類の超音波本洗浄スタート

3: 今度はBに蓋をしたので器具類は変わって空になったAのタンクに本洗浄で使用したバスケットを入れて器具類を浸漬する。

超音波本洗浄終了後は、バスケットを流水下でよくすすぎ、器具類をタオルの上に置いてオートクレーブへ入れる準備をする

超音波洗浄器が空になったのでBの蓋をAに移し、Bのバスケットを新たに超音波洗浄機にいれて本洗浄開始で15分間行う。

★Aの器具類の本洗浄完了 & ★Bの器具類の超音波本洗浄スタート & ★新たに2回目のAタンクの予備洗浄サイクルスタート

1~3の一連の流れを繰り返すことで15分間隔で本洗浄が終了していきます。

午前の診療が終了されるころには8割の器具類が本洗浄終了して、オートクレーブに入れる準備が完了しております。

また患者様が多い歯科医院様でもスタッフの方々が洗い場に立つ事が少なくなり、尚且つ滅菌も数回スムーズに行えます。

予備洗浄の浸漬時間は、自己申告が無い患者さんに対しての対応策でしっかりした洗浄で感染を防ぐためのものです。

●器具類が低リスクで汚れが少ない場合は②の超音波本洗浄からスタートできます。

また、リスクが高く予備洗浄を行わない②の超音波本洗浄のみの洗浄サイクルの場合は、酵素の希釈率は20倍にしてください。

歯科医院様の設置(例1)



バスケットと洗浄タンクを各3ヶ準備され洗浄サイクルをスムーズに行っております。Cは流水下で濯ぐために使用しております。流れを一層スムーズにするためにバスケットも1ヶ多めに準備されました。